

にのみや気候市民会議

〈第2回〉



日時：令和6年7月6日（土）
午後1時30分～
場所：二宮町生涯学習センター ラディアン
ミーティングルーム2

にのみや気候市民会議のスケジュール

	第1回 5月19日(日)	第2回 7月6日(土)	第3回 8月25日(日)	第4回 10月20日(日)	第5回 11月24日(日)
講師	江守 正多 氏 東京大学 未来ビジョン研究 センター教授	井上 岳一 氏 日本総合研究所 創発戦略センター エクスパート	勝田 悟 氏 東海大学 大学院 人間環境学研究科 教授	室田 憲一 氏 (ファシリテーター) 東海大学 教養学部 人間環境学科教授	室田 憲一 氏 (ファシリテーター) 東海大学 教養学部 人間環境学科教授
講演	気候変動問題の 全体像	CO2吸収源	CO2発生源	—	—
議論	ワールドカフェ ・会議の名称決め ・二宮町らしさ	ワークショップ ・CO2吸収源に関わ る提案	ワークショップ ・CO2発生源に関わ る提案	ワークショップ ・これまでの振り返り ・提案とりまとめ	ワークショップ ・提案とりまとめ ～投票

本日の流れ

ガイダンス

～ 第1回のアンケート結果・気候変動対策に関する動向～

講義

～ CO2の吸収源について～

議論（話し合い）

講評（井上岳一氏）

次回開催に向けた連絡事項

第1回の振り返り（発表内容）

【A グループ】

二宮町は、家庭部門の CO2 排出が多いことから、冷暖房の利用を控えるなどの省エネを行うことが必要だと思う。

【B グループ】

二宮町は、子どもから高齢者までの繋がりが深いという特徴があることから、町全体での取り組みを行いやさしいと思う。

【C グループ】

二宮町は、自然が豊かで空気が綺麗なことや人がのほほんとしていて温かい人が多いと感じる。人の繋がりを活かすことで CO2 削減に町全体で取り組めると思う。

【D グループ】

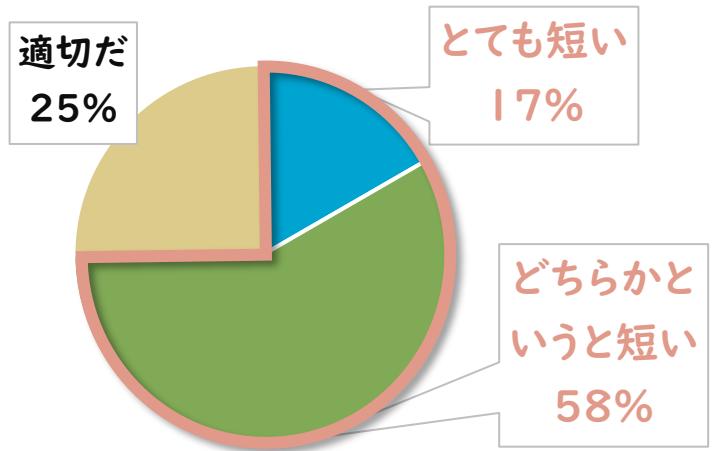
二宮町は、海・山・川等の遊び場が多いことから、それらを活かした取り組みを進めると良いと思う。

【E グループ】

町の良い所として挙げられる自然が、徐々に失われていることや、移住者は増えているが人口が減っていることにゆれ動いている。

第1回のアンケート結果

意見交換会の時間の長さは適切でしたか



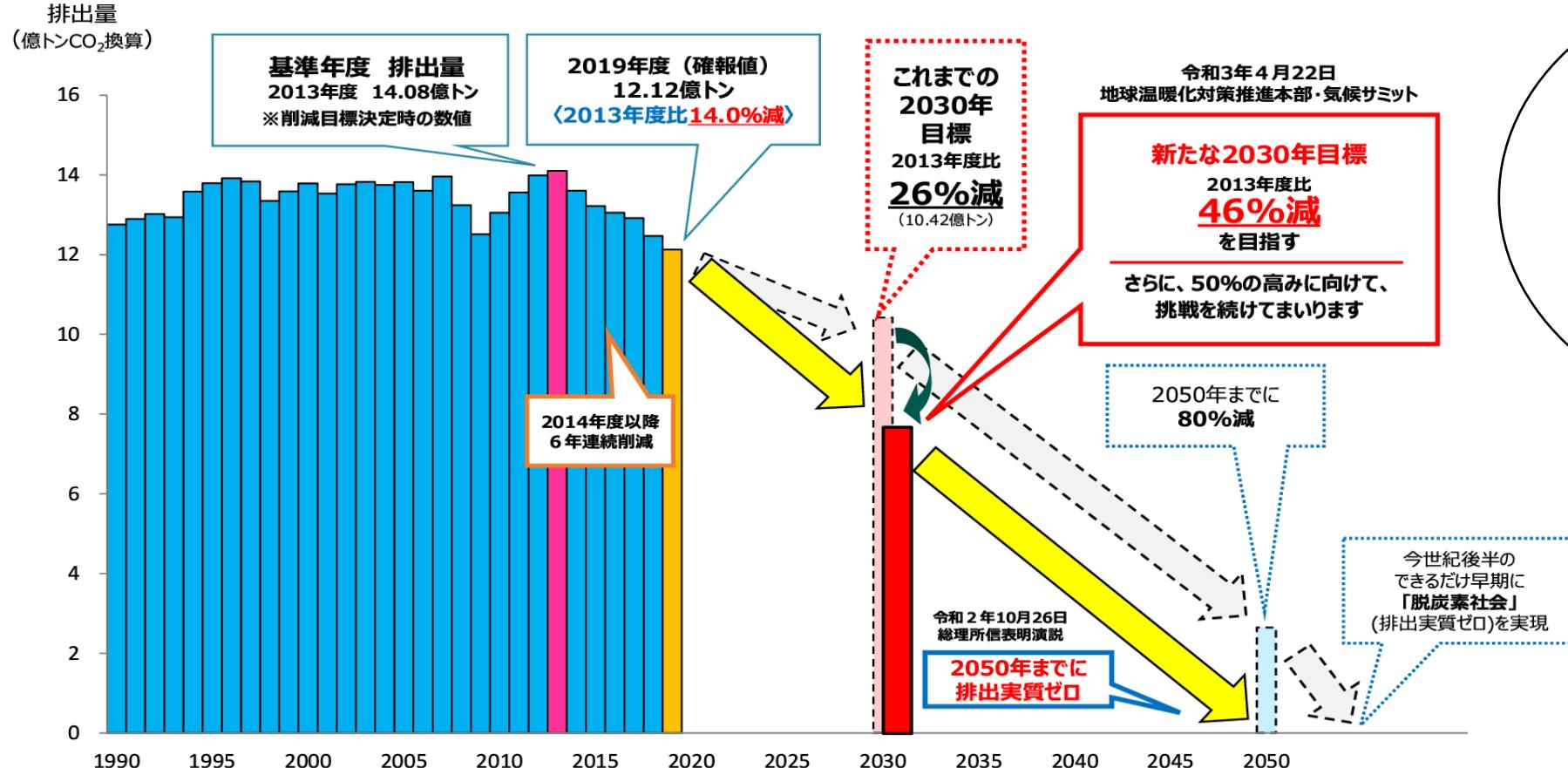
アンケート問5において「とても短い」、「どちらかといふと短い」という意見が約8割ほどあったことから、第2回以降は、意見交換の時間を長くさせていただくこととしました。

【その他ご要望等について】

- ・意見交換会のテーマについて、事前にもう少し詳細に教えていただければ助かります。
- ・第一回資料グラフの横軸西暦で表示しないとH、Rなどではわからない。

気候変動対策に関する国々の動向

我が国の温室効果ガス削減の中期目標と長期目標の経緯



気候変動問題は国で
動いている大きな問題！
二宮町でもより具体的な
取り組みをしていくよ！



出典元 環境省「中小企業における脱炭素経営」

中期目標

長期目標

二宮町の気候変動対策に関する動向

2023年



二宮町
気候非常事態宣言

2024年



にのみや
気候市民会議

自然環境についても取り扱う



地球温暖化対策に
関する計画



自然環境に関する
計画

地球温暖化対策に関する計画とは

地球温暖化対策実行計画

名称	策定	対象
事務事業編	義務 (2017年3月策定)	二宮町の公共施設 行政職員
区域施策編	努力義務 (2025年3月策定予定)	二宮町全体 町民・事業者・行政職員



計画があることは分かったけど、そもそも
地球温暖化対策ってどんなこと?

地球温暖化対策ってどんなんこと？

緩和策

- ・省エネルギー対策
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・森林等の吸収源の増加による温室効果ガスの排出削減



適応策

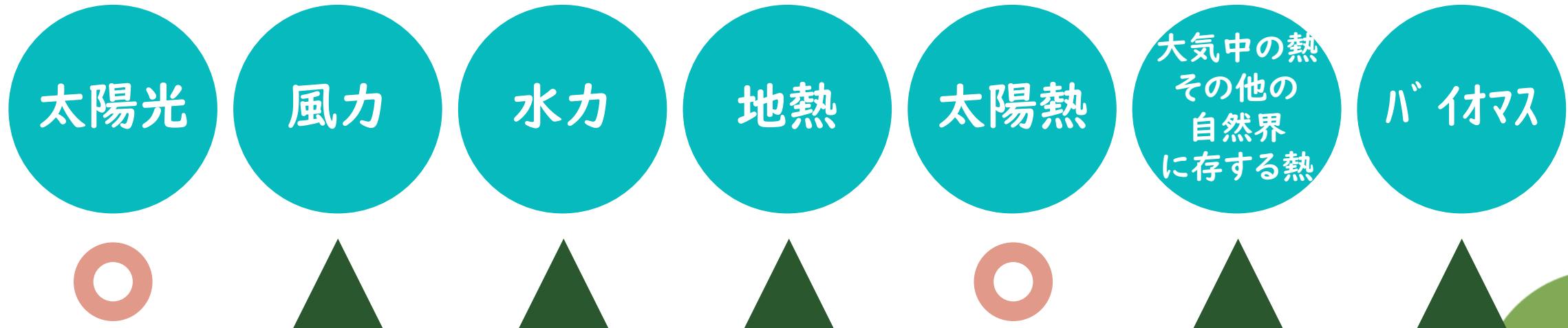
- ・熱中症予防をする
(こまめな水分攝取、エアコンを適切に使用)
- ・災害に備える
(ハザードマップなどを確認しておく)



再生可能エネルギーとは…

気候変動の最大の原因とされる化石燃料（石炭、石油、ガス）の代替として期待されるエネルギーで、関連する法律によって定義や範囲は多少異なりますが、「エネルギー供給構造高度化法」及び政令では、「再生可能エネルギー源」は、「太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの」と定義されています。

二宮町では



地球温暖化対策ってどんなんこと？

緩和策

- ・省エネルギー対策
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・森林等の吸収源の増加による温室効果ガスの排出削減



適応策

- ・熱中症予防をする
(こまめな水分攝取、エアコンを適切に使用)
- ・災害に備える
(ハザードマップなどを確認しておく)



講義

～ CO₂の吸収源について～



講師 井上 岳一氏



プロフィール

株式会社日本総合研究所

創発戦略センター チーフスペシャリスト

内閣府規制改革推進会議専門委員・地方創生推進アドバイザー

観音寺市政策アドバイザー、南相馬市復興アドバイザー

武蔵野美術大学客員研究員・特別講師

藤沢市出身。農林水産省林野庁、Cassina IXCを経て、日本総合研究所に入社。2010年から同社創発戦略センターに所属。

森のように多様で持続可能な社会システムの実現をめざし、インキュベーション活動に従事。

著書に『日本列島回復論』(新潮選書)など。

2013年より二宮町下町在住。

議論（話し合い）①

～二宮町に、増えてほしいこと / 減ってほしいこと～



話し合いのルール

①意見を
否定しない

②話を
最後まで聞く

③発言の
責任を問わない

④模造紙に
思ったことを書く

- ・誤字は気にしない
- ・メモのような役割

⑤専門用語や難しい
言葉はできるだけ使
わない



ただし、話は短くまとめる
ようにしましょう！

発表

～グループで出た意見の共有～



情報提供①

～合同会社 グリーンエネルギー湘南～



合同会社 グリーンエネルギー湘南

Q.太陽光パネルが普及しないのはなぜ？

- CO2削減への認識の低さ。
- 再生可能エネルギーに切り替える選択の難しさ。
- 送電線網が地域ごとに区切られ地域の需給バランスが取れていないこと。

Q.大変だったことや苦労していることは？

- 建設用地や建設費の調達。
- 事実上の耕作不能地をソーラシェアリング制度で発電と農業の両立は可能なのか。

Q.始めたきっかけは？

- エネルギーの地産地消の循環型地域経済を作りたい。
- 原発が安全な電気エネルギー源では無くなったこと。
- 耕作放棄地が増えてきたこと。
- 再生可能エネルギーの活用が具体的に進まないこと

合同会社 グリーンエネルギー湘南

市民会議メンバーの皆さまへのメッセージ

- 再エネ利用は、**自然との調和と災害リスク評価**を行って**地域の賛同**を得て実施するものと考えている。
- 昔から再エネ利用は行われていることであり、**科学的な利用技術の進歩と変化**は我々が克服すべき課題であり、批判の中に何も生まれない。



情報提供②

～ 株式会社 ユニバーサル農場 ～



株式会社 ユニバーサル農場

Q. 有機農業が普及しないのはなぜ?

- 効果がそこまで期待できないことや農家が減っていることが要因だと考える。
- 化学肥料に変わる、温室効果ガスを排出しない肥料の開発が望まれる。

Q. ソーラーシェアリングが普及しないのはなぜ?

- 作物が限られることや初期費用がとてもかかることが要因だと考える。
- 国や県、市町村からの補助金が必須である。

Q. これからしようとしていることは?

- 農業で使う電気を再生可能エネルギー由来のにすることを検討しているが、初期費用などの関係からできてはいない。



株式会社 ユニバーサル農場

市民会議メンバーの皆さまへのメッセージ

- 農家自体が少なくなってきたてしまっていることから、耕作放棄地の有効活用は考えていくべき。
- ただの荒れた土地とるのでなく、植林をすることやソーラーパネルを設置することなどの検討をしていく必要がある。



議論（話し合い）②

～どうやったら実現できる？～



話し合いのルール

①意見を
否定しない

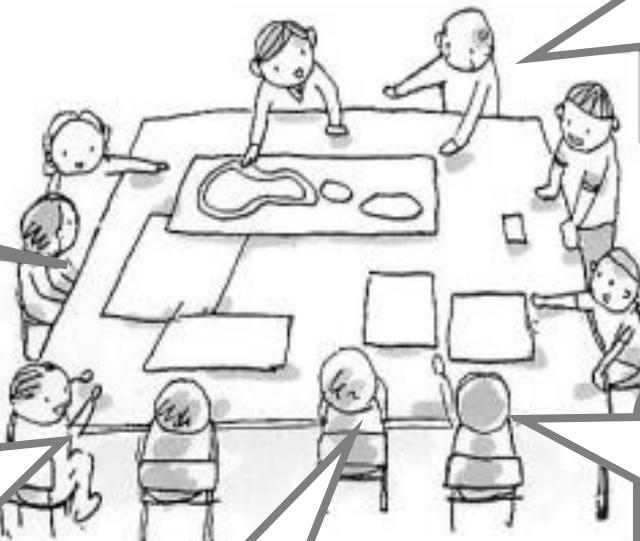
②話を
最後まで聞く

③発言の
責任を問わない

④模造紙に
思ったことを書く

- ・誤字は気にしない
- ・メモのような役割

⑤専門用語や難しい
言葉はできるだけ使
わない



ただし、話は短くまとめる
ようにしましょう！

発表

～グループで出た意見の共有～



講評（井上岳一氏）



次回開催に向けた連絡事項

